

# 歌唱

豊かな表現を目指して、  
日本、イタリア、ドイツ、フランスの歌曲を取り上げ、  
歌い方を詳しく説明しました。

(教科書P.14)

## 日本の歌曲では作曲者の意図を探る

### 心からたちの花

北原白秋作詞/山田耕

日本の歌曲を歌おう

からたちの花が咲いたよ  
白い花が咲いたよ

からたちのとげはいたいよ  
青い青い針のとげだよ

からたちは畑の垣根よ  
いつもいつもおる道だよ

からたちも秋はみのよ  
まらいまらうい金のたまだよ

からたちのそばで泣いたよ  
みんなみんなやさしかったよ

からたちの花が咲いたよ  
白い花が咲いたよ



からたちはミカン科の落葉低木。枝には鋭いとげがあり、春になると白い5弁の花を咲かせる。秋には黄色く丸い果実が熟すが、食用ではない。

山田耕自身が残した『からたちの花』の演唱法に基づいて、歌い方の解説を楽譜の中に示し、作曲者の意図を読み取って表現することができるようになりました。

Andante tranquillamente ♩ 72~92  
(ゆるく・しずかに、やや自由に)  
sempre sotto voce

からたちの花が咲いたよ しろい しろいは  
やや抑えて 深くと、軽く流すように 落ちる 群るように、ためらいがちに 欲権的に pで

な が咲いたよ からたちのとげはいたいよ あ  
強弱を生かして いっそう落ちるきをもって 強弱に留意して 抑えて、わずかに肩をあげて

おいあおいは 一りのとげだよ からたちははたのかきね  
滑らかに 軽くプレスする 明るく 柔らかく発音 重く やや急ぎみに 落ちる 寂しく

in fretta un poco a tempo

## 豊かな歌唱表現を目指して

言葉と旋律との関係を学び、自然で豊かな歌唱表現につなげていくことができるよう、さまざまな手法で解説するコラムを設けています。

イタリア語などの西洋の歌曲にアウフタクトで始まる曲が多いのは、言葉のもつアクセントが日本語とは違うからでしょう。自然な流れで豊かな表現ができるよう、しっかりと導いています。

## 定番のイタリア歌曲をしっかりと表現するために

### うつろの心

作詞者不明/徳中良輔日本語/ジョヴァンニ・バイゼット作曲

Andantino p

Nel cor più non mi sento  
なぞにこころようつろなるやそはわかき

memoria - mov, sei nel - la - mi più - scelli, mi - ston - delli, mi - a - more - d'aver - to -

だかれさめてはかなしあわれあわれわれこいはわかれ

### 歌唱のポイント①

#### 8分の6拍子によって歌おう

①「うつろの心」の旋律には、下の譜例で示したような ♩ のリズムが多く用いられています。このリズムのまとまりを意識しながら、♪の音に重心を置くように歌いましょう。

※○は強拍の位置

- ♪のところでは、母音を長くのばして歌います。
- ♪のリズムと言葉のアクセントに注意しながら、<img alt="arrow symbol" style="vertical-align: middle;"/>や大きな流れを感じて歌いましょう。

母音の歌い方の例

Nel cor più non mi sento

※母音をのばした後に「ル」や「ン」などの子音を軽く発音する。

カジョーン デル ミーオ トルメン ト  
cagion del mio tormento, ca - gion del mio tor - men - to,

(教科書P.16・17)

曲の構成を生かして曲想に合った表現を工夫しよう

2年生でも学習指導要領の内容に沿って、「何を目標に、どのような活動をするのか」を具体的に示しています。

### 子守歌

A.v. アルニム, C. プレンターノ, G. シェー  
ヨハネス・ブラームス作曲

Wiegenglied

Zart bewegt

1 die-ten Ä - bend, gut' Nacht, die mit Ro - sen be - dacht, mit Nig' - lein be -  
2 Gä-ten Ä - bend, gut' Nacht, von Eng - lein be - wacht, mit zwi - gen im -  
ねんねん ころり は は の ひざ は ゆ - め を さそ

3 Nacht, die mit Ro - sen be - dacht, mit Nig' - lein be -  
2 拍目の4分音符にかかるように、子音の"cht"を発音することによって、フレーズとフレーズがスムーズにつながります。休符もフレーズの一部と感じながら歌ってみましょう。

4 "bedacht"の歌い方  
"bedacht"の部分は、「ダ」とのばした母音を2拍目でもう一度「ア」と感じて、その後子音の"cht"を素早く発音します。そして、フレーズで拍の流れが止まらないよう注意して、次のフレーズにスムーズにつながりましょう。

ドイツ語らしい歌い方になるよう、語末の子音の発音のタイミングについて解説しています。

(教科書P.18・19)

#### 歌唱のポイント②

##### 曲想を感じ取って歌おう

- 1 曲の構成を確認しましょう。この曲の前半と後半それぞれどのような特徴があるのかを調べ、歌い方を工夫しましょう。
- 2 子守歌の雰囲気をつくるため、柔らかな響きを工夫しましょう。
- 3 語末の子音の発音は、ドイツ語の特徴の一つです。より音楽的な表現ができるよう、語末の子音の歌い方を工夫しましょう。



Nacht, die mit...

### 初めてのフランス語

フランス語らしい発音で歌うために、ポイントとなる発音を図形に置き換え、楽譜中に示しました。

#### シャンソンの雰囲気を感じ取って歌おう

### 愛の讃歌

Hymne à l'amour

エディット・ピアフ作詞/若原三穂  
マルグリット・モノ作

Tempo rubato

ル シェル ブル シュル ヌブ セ フランドル エ ラ テー ム プレン  
Le ciel bleu suppin peut s'el - fon - drer Et la ter - re peut bien  
[ant qu'a - mour] i - non - der mes ma - ins [ant que mon corps] fre - mi - ra  
あ た の も え る て で あ た し を だ き  
た だ い の ち の か ぎ り あ た し は あ い

II. G Am

ler Peun'im - poi - te si tu m'ai - mes Je me fous du monde  
mais Peun'im - poi - te les pro - ble - mes Mon a -  
て た だ ち た り だ け で い き て い た  
い の ち の か ぎ り に あ な

#### 歌唱のポイント③

##### フランス語らしい発音で歌おう

「愛の讃歌」をフランス語らしい発音で歌ってみましょう。

まず、音符の一つ一つに、言葉の1音節を当てるのが基本です。1音節に含まれる母音は1つなので、始めに出てくる"ciel"などの場合は、「シ-エル」と3音節に聞こえないように、1つの母音[イ]の前後に子音を付けて「[エ]」と一続きに発音しましょう。

- 1 小節目の"s'el fon"などの"l"は、通常のフランス語の発音では舌の裏を持ち上げて、喉の奥から強く息を出します。しかしシャンソンの場合は巻き舌で発音することもあるので、この曲では巻き舌を歌いましょう。
- フランス語では、単語の最後が子音の場合、多くはその文字の音を発音しません。1小節目の"nous"の"s"や"peut"の"t"など、印のある文字がこれに該当します。
- 1小節目の"s'el fon"の"on"などは、鼻母音と呼ばれるフランス語独自の響きです。「オン」という母音の「オ」を鼻に当て、鼻から「ン」の響きを出すつもりで、「オン」のように発音します。
- 2段目の終わりの"monde entier"のように、先の単語の[モンド]と次の単語の[アン・ティエ]がくっついて[モン・タン・ティエ]となったり、2語がくっついて[Mon amour]のように、「モン」と「アムール」がくっついて「モナムール」となるような場合があります。このように、単語と単語が結びついて発音が変わるのもフランス語の特徴の一つです。
- 2段目の終わりの"monde entier"の"en"の母音は、「オ」に近い「ア」です。口を縦長に開き、実際には「ドン」と聞こえるぐらいに発音しましょう。第2節の最初の"ant"も同様「ト」に聞こえるぐらいに発音します。どちらも鼻母音なので、息を鼻に当てるとも意識してみましょう。

# 器楽

無理なく楽しみながら取り組める楽曲を厳選しました。また、ギターと篠笛の奏法を分かりやすく説明しています。

### ギターは好評のアレンジで

ギターアンサンブルに挑戦しよう

### Stand By Me

ベン・E.キング、ジェローム・リーパー、マイク・ストラー作詞・作曲/若木宏輝編曲

1 (When the night has come, And the land is dark And the

「Stand By Me」の伴奏は、シンプルなコード進行でできています。このコードを覚えて伴奏を弾いてみましょう。弾けるようになったら、ベースラインアンサンブルに挑戦してみましょう。

メロディー、コード、ベースの3つのパートに分かれて演奏することで、ギターの経験がなくても簡単に習得することができます。達成感が得られます。コードの指の位置も写真で分かりやすく示しています。

左手のポジション

(教科書P.22・23)

### 和楽器は篠笛で

曲想を生かして、イメージをもって表現しよう

### 秋の宵

自由な速度で

自由な速度で、音は口に少し引け、上下を軽く合わせる。下唇が唇口に「く」ぐらいかかるように。

な角度で拭いてよいでしょう。

息の流れ

息は横口で吹くはもうとせず、前に向かってブレイマーです。

#### 指孔のふさぎ方



#### 口の当て方



息は横口で吹くはもうとせず、前に向かってブレイマーです。

#### 作曲者の言葉

一面に田んぼが広がる小さな村の、秋の夜をイメージした曲です。笛の旋律は、歌舞夜の中で、田舎のどんな風景などを表現するとき演奏する「田舎笛」をヒントに思いつきました。跡は、小ぶりの鈴を身につけて踊る素足の子供の姿をイメージして書きました。みなさんもそれぞれイメージをふくらませて、旋律の吹き方、打楽器の音色などを工夫してみてください。

(教科書P.26・27)